

# 世界の気候と文化プリン ト

名前

- 問1 南アメリカのブラジルにおいて、ガソリンや軽油の代わりとしてサトウキビなどを原料とする燃料の利用が進められている背景について述べた文章として、適切なものはどれですか。(2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 石油などの枯渇性資源への依存を減らし、環境負荷を抑えた持続可能な社会を目指すため。
  2. バイオ燃料を導入することで、温室効果ガスの排出量を完全にゼロにすることを唯一の目的とするため。
  3. 食料としてのトウモロコシの需要を減らし、輸出に回す余力を生み出すことを目的とするため。
  4. 工業製品の輸出を禁止し、農業生産物のみで国内の全エネルギーをまかなう体制を作るため。
- 問2 北半球の高緯度地域において、最も暖かい月の平均気温が15度を超える「亜寒帯（冷帯）」と、5度程度にとどまる「寒帯」の最大の違いは、植生の有無にあります。寒帯において森林が見られない理由として、最も適切な説明はどれですか。(2026年 愛媛公立入試 類似)
1. 夏季の気温が低く、樹木が生命活動を維持・成長させるための熱量が不足しているため。
  2. 一年を通して降水量が極めて少なく、樹木が吸い上げるための水分が地中に存在しないため。
  3. 強風が絶えず吹き荒れているため、樹木が根を張る前に倒されてしまうから。
  4. 高緯度では太陽高度が低く、光合成に必要な光の強さが一年を通して得られないため。
- 問3 オーストラリアにある都市の月別平均気温を確認すると、1月前後の気温が最も高く、7月前後の気温が最も低くなっています。このような気温の変化が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。(2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. この都市が南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転しているため。
  2. 赤道付近の熱帯地域に位置しており、年中高温で季節の変化がほとんどないため。
  3. 高緯度の西岸海洋性気候に属しており、暖流と偏西風の影響で冬の寒さが和らいでいるため。
  4. 中緯度の大陸東岸に位置しており、季節風（モンスーン）の影響を強く受けているため。
- 問4 食用や家畜の飼料としての利用に加え、近年では石油などの化石燃料の代替品となるバイオ燃料の原料としても需要が急増し、世界生産量が最も多くなっている穀物はどれですか。(2022年 静岡公立入試 類似)
1. とうもろこし
  2. 米
  3. 小麦
  4. 大麦
- 問5 アラビア半島に位置するイスラム教の聖地であり、開祖であるムハンマドが宗教活動を開始した起源の場所とされる都市の名前を答えなさい。(2018年 岡山公立入試 類似)
1. メッカ
  2. エルサレム
  3. パチカン
  4. デリー
- 問6 かつて植民地支配を行っていた欧米諸国などによって、東南アジアやアフリカなどの熱帯・亜熱帯地域で開発された、特定の輸出用作物を大量に生産する大規模農園を何と呼びますか。(2026年 和歌山公立入試 類似)
1. プランテーション
  2. 企業的穀物農業
  3. 自給的農業
  4. 地中海式農業
- 問7 タイのバンコクにおける、11月から5月頃にかけては降水量が極めて少なく、6月から10月頃にかけて降水量が集中するという気候の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2017年 佐賀公立入試 類似)
1. 一年を通じて気温が高く、明確な乾季と雨季に分かれている
  2. 四季の変化がはっきりしており、夏季にのみ降水量が集中する
  3. 通年で降水量が一定であり、乾いた時期が存在しない
  4. 夏季の気温は高いが、冬季には気温が氷点下となり積雪が見られる
- 問8 世界の諸都市の気候を比較した際、1月と7月の平均気温の差（年較差）は比較的小さいものの、降水量のデータを見ると特定の時期に極端に雨が多く、別の時期にはほとんど雨が降らないという明確な差が見られる都市があります。このような降水パターンの変化をもたらす主な要因は何ですか。(2020年 兵庫公立入試 類似)
1. 高緯度地域において、一年中冷涼な空気が大陸から流れ込み続けるため。
  2. 季節によって吹く方向が変化し、湿った空気や乾いた空気を運ぶ季節風（モンスーン）の影響。
  3. 偏西風が一年中安定して吹き込み、海からの湿った空気を絶やさず供給しているため。
  4. 暖流の影響により、周辺の海域から常に大量の水蒸気が蒸発し続けているため。
- 問9 チュニジアの首都チュニスには地中海沿岸に位置しています。この都市の気候は、最も気温が高い時期に平均気温が25度以上に達する一方で降水量が0～50mmと極端に少なくなり、最も気温が低い時期に平均気温が10度前後で降水量が比較的多くなるという特徴があります。このような気候区分を何といいますか。(2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 地中海性気候
  2. 熱帯雨林気候
  3. 亜寒帯（冷帯）湿潤気候
  4. ツンドラ気候
- 問10 2016年の統計において、米の生産量が世界1位・2位である中国とインド、および輸出量が世界的に多いタイの状況を比較した説明として、正しいものはどれですか。(2020年 兵庫公立入試 類似)
1. 中国とインドは世界全体の生産量の半分近くを占めるが、国内での消費も多いため、輸出量は生産量の多いタイを大きく下回る時期がある。
  2. タイは国土面積が中国よりも広いため、米の生産量においても中国を上回っており、世界最大の米輸出国となっている。
  3. インドは小麦の生産が中心の国であるため、米の生産量や輸出量に関してはタイなどの東南アジア諸国よりも常に下位に位置している。
  4. 中国は企業的な農業によって世界最大の輸出量を誇っているが、インドは自給的な農業が中心であるため輸出はほとんど行われていない。
- 問11 ユーラシア大陸北部のシベリアなどのように、高緯度で冬の寒さが極めて厳しい地域において、伝統的に動物の毛皮を用いた厚手の防寒着が着用されてきた理由として、最も適切な説明を選びなさい。(2021年 広島公立入試 類似)
1. 動物の毛皮は繊維の間に多くの空気を含むため断熱性が非常に高く、マイナス数十度に達するような極寒の環境で体温を維持するのに適しているから。
  2. この地域では年間を通じて降水量が非常に多いため、毛皮が持つ撥水性を利用して、衣服が雨や雪で濡れて体温が奪われるのを防ぐ必要があるから。
  3. 標高が高く空気が希薄な環境において、強い日差しを遮りつつ、急激な気圧の変化から身体を保護するために厚手の素材が求められたから。
  4. この地域では綿花の栽培が容易であるが、野生動物の狩猟が神聖な儀式とされていたため、宗教的な理由から毛皮の着用が義務付けられていたから。
- 問12 世界の各地域の気候を比較したとき、南アメリカ大陸のチリ中部、ブラジルのアマゾン川流域、オーストラリア北部、北欧の4つの地域のうち、温帯に属する場所はどこですか。(2022年 徳島公立入試 類似)
1. チリ中部
  2. アマゾン川流域
  3. オーストラリア北部
  4. 北欧

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 石油などの枯渇性資源への依存を減らし、環境負荷を抑えた持続可能な社会を目指すため。	ブラジルでは広大な国土を活かしてサトウキビの栽培が盛んに行われており、それを原料としたバイオ燃料（エタノール）を自動車燃料として普及させています。これは、使い続けるとなくなってしまう石油などの枯渇性資源の使用を抑制するだけでなく、燃焼時に排出される二酸化炭素を植物の成長過程での吸収量で相殺できるため、地球温暖化対策としても有効な手段となっています。
問2	答え 1 夏季の気温が低く、樹木が生命活動を維持・成長させるための熱量が不足しているため。	植物の分布を決定する大きな要因は、冬の寒さよりも「夏の暖かさ」です。寒帯では、夏であっても気温が十分に上がらないため、樹木が光合成によって自身の体を大きくしたり、冬を越すためのエネルギーを蓄えたりすることができません。この「最暖月平均気温10度」というラインは、森林ができるかできないかを分ける重要な境界線（森林限界）となっています。
問3	答え 1 この都市が南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転しているため。	地球は地軸を傾けた状態で公転しているため、太陽の光が当たる角度が時期によって異なります。これにより、南半球では北半球が夏の時期（6～8月）に冬を迎え、北半球が冬の時期（12～2月）に夏を迎える「季節の逆転」が起こります。したがって、オーストラリアなどの南半球の都市では、1月に気温が高く、7月に低くなるという日本（北半球）とは逆のパターンを示します。
問4	答え 1 とうもろこし	とうもろこしは、アメリカ合衆国などを中心に大規模な栽培が行われており、食用だけでなく飼料用、さらにはバイオ燃料の原料として多角的に利用されています。この多様な用途による需要の拡大から、現代において世界で最も生産量の多い穀物となっています。
問5	答え 1 メッカ	アラビア半島西部に位置するメッカは、イスラム教において最も神聖な都市とされています。世界中のイスラム教徒は、毎日このメッカの方向に向かって礼拝を行うほか、一生に一度はメッカへ巡礼することが義務の一つとされています。
問6	答え 1 プランテーション	熱帯・亜熱帯地域において、天然ゴム、油やし、カカオ、コーヒーなどの特定の農作物を、安価な労働力を用いて大規模に栽培する農園形態です。歴史的に欧米の資本や技術が投入され、自国での消費ではなく国際市場への輸出を目的として発展しました。
問7	答え 1 一年を通じて気温が高く、明確な乾季と雨季に分かれている	タイのバンコクは熱帯に位置しており、雨温図のデータを見ると、月平均気温は一年を通じて約25度から30度の範囲で推移し、常に高温であることがわかります。一方で降水量は、11月から5月までの「乾季」と、6月から10月までの「雨季」という2つの時期にはっきりと分かれているのが特徴です。日本の夏・冬のような気温差による季節区分ではなく、降水量の差による季節区分がなされています。
問8	答え 2 季節によって吹く方向が変化し、湿った空気や乾いた空気を運ぶ季節風（モンスーン）の影響。	平均気温の年較差よりも降水量の季節変化が激しい地域、特に東南アジアや南アジアなどでは、季節風（モンスーン）が気候に大きな影響を与えています。夏には海から陸へ向かって湿った風が吹くため降水量が増え、冬には陸から海へ向かって乾いた風が吹くため乾燥するという、明瞭な雨季と乾季のサイクルが生まれます。
問9	答え 1 地中海性気候	チュニスのように、地中海沿岸に見られる「夏に高温乾燥し、冬に一定の降水がある」気候は地中海性気候と呼ばれます。夏に亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響下に入ることで降水が抑えられ、冬には偏西風の影響などで雨が降るといったメカニズムを持っています。熱帯雨林気候は年中多雨であり、亜寒帯やツンドラはより気温が低い時期のデータが見られるため区別されます。
問10	答え 1 中国とインドは世界全体の生産量の半分近くを占めるが、国内での消費も多いため、輸出量は生産量の多いタイを大きく下回る時期がある。	中国やインドは人口が多く、米が主食として大量に消費されるため、生産量が世界トップクラスであっても輸出量ではタイやベトナムなどの東南アジア諸国が上位に来ることがあります。統計上、生産量の多さと輸出量の多さが必ずしも一致しないのは、その国における人口規模や主食としての需要、農業の目的（自給か販売か）が影響しているためです。
問11	答え 1 動物の毛皮は繊維の間に多くの空気を含むため断熱性が非常に高く、マイナス数十度に達するような極寒の環境で体温を維持するのに適しているから。	シベリアなどの寒冷地域では、冬の気温が極めて低くなるため、生存には体温の保持が不可欠です。動物の毛皮は、毛の間にデッドエア（動かない空気）の層を作ることで熱を逃がさない優れた断熱効果を持っており、古くから防寒着の素材として重宝されてきました。降水量が多い地域や標高が高い地域（アンデス山脈など）の生活様式とは、背景にある気候条件が異なります。
問12	答え 1 チリ中部	南アメリカ大陸のチリ中部は、緯度や海流の影響によって四季の変化がある温帯に分類されます。これに対し、ブラジルのアマゾン川流域やオーストラリア北部は一年を通じて気温が高い熱帯に属し、北欧は冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）や寒帯に属しています。地理的な位置によって受ける太陽光の量や気圧帯の影響が異なるため、このような気候の差が生じます。